

# 平成30年度 行政評価事業別シート

<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林 貴彦	
全体計画			経費区分	経常的経費	内線		3535	
事務事業名	4241 市営住宅管理事業							
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課							
施 策	06033400 安心で快適な住環境の推進							
予算 科目	会計	01 一般会計						
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費						
	事業	020000 市営住宅管理事業						
事業目的	事業概要・効果							
・市営住宅の維持管理	・住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸し、市民生活の安全と社会福祉の増進を図るため、市営住宅の維持管理を行う。							

**PLAN-DO****年度実績及び予定**

平成27年度 実績	平成28年度 実績
・明渡し28戸、募集戸数30戸、申込者数44人 ・修繕件数186件	・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件
平成29年度 実績	平成30年度 予定
・明渡し33戸、募集戸数31戸、申込者数48人 ・修繕件数140件	・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件
平成31年度 予定	平成32年度 予定
・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件	・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件

指標名	無し				
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

## 事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		19,697	20,319
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	17,029	20,319
一般財源		2,668	0
人 員 数 (人)	正規職員	2.0	2.1
	嘱託職員	0.7	0.7
	臨時職員	0.0	0.0
	計	14,298.0	15,012.9
人 員 コス ト	正規職員	1,936.2	1,936.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	計	16,234.2	16,949.1
	市民一人当たりの経費	0.7	0.7
総額		35,931.2	37,268.1

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	12,276	消耗品、燃料費、印刷製本、光熱水費、修繕料
13節 委託費	2,597	電算委託料、保守点検委託料、シルバー人材センター委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,824	報酬、旅費、役務費、使用料及び賃借料、原材料費、公課費

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,997	電算委託料、保守点検委託料、シルバー人材センター委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	17,322	報酬、旅費、役務費、使用料及び賃借料、原材料費、公課費

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	必要不可欠な業務であるが、来年度より管理業務の委託化を進められるよう準備を進めている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	住宅に困窮している市民の入居が図られ、課題解決に貢献できている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	効率を追求する事業ではないが、来年度より管理業務委託を進められるよう準備を進めている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の適正な維持・管理を行えた。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）	2次評価	次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント		
管理代行、指定管理による管理に移行を進める。		管理代行、指定管理による管理に移行を進める。		

**外部評価**

次年度以降の方向性
外部評価コメント